

研究資源共有化システム ニュースレター

第2号
2011年
3月15日

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 研究資源共有化事業委員会

Inter-University Research Institute Corporation National Institutes for the Humanities The Committee of Resource Sharing Project

巻頭言 ショカン

昨今、「暑」と「寒」に席卷されてしまった。昨夏は「猛暑」で、今冬は「極寒」である。正しくこれ以外に言う言葉がない。手許の電子辞書を弄っていて気になった。一番暑いことを言う言葉は何であろうか。先人はどう表現したのであるか。猛暑、炎暑、激暑、厳暑、酷暑、極暑、甚暑、熱暑、盛暑などと言ひ、早暑や蒸暑と溽暑などもある。二十四節気では小暑から大暑へ、そしてやっと立秋を経て処暑に続く。何とか避暑、防暑、消暑をしたいところだ。段々と残暑を経てようやく一息をつく。寒暑が懐かしいが、また薄暑となって向暑となるのだろう。くれぐれも中暑に気をつけたいといけな。以上は広辞苑。他にも、大修館日本語大シソーラスをみれば、劇暑、煩暑、毒暑、烈暑、濃暑、焦暑、苦暑なども登場してくる。ところで、以上は「暑」が語尾の二字熟語の例である。暑威、暑熱、暑苦、暑気、暑中など語頭の例はあまり多くない。

これらの言葉の意味は(電子)辞書で分かるが、出典や用例はどうであろう。「猛暑」という語はいつ頃から使われてきたのだろうか。研究資源共有化システムに当たってみる。単純に「猛暑」を全項目検索してみる。3種のデータベース(以下、DB)に、19件のレコードがヒットした。国語研の「ことばに関する新聞記事」DBに7件、民博の「身装文献」DBに2件、国会図書館の「NDL蔵書目録」DBに10件である。最も古い使用例は、新聞記事(1964)とNHK映像歌年鑑(1964-65)の2例であった。

残念ながら、これ以前の使用例は得られない。なお、新聞記事に気象庁11年ぶり用語改正、35度以上の日を「猛暑日」と制定したとある(2007.3.31)。その前は「酷暑日」と言った。猛暑はどれも最近の用語の様である。因みに、「酷暑」で検索した。4機関の7DBのうち28件ヒットした。この中では最古例と思われる国書総目録に、新井白石遺文として「酷暑聯句云々」の引用があった。また、歴博館蔵資料DBに、明治2年と3年の三条実美書簡(大久保利通宛)の例がある。昔は「酷暑」を使ったのかも知れない。

ついでに、「暑」を入力した。7機関37DBヒットし、2,398件

ヒットした。すべてをチェックしてはいないが、二字熟語では暑中、暑気、炎暑などが普通に使われている。

少しいがずれるが、ある和歌書の作者の項目に、「…光雄・為綱・無暑名・資茂…」とある。よく分からない。そのうち、吾妻鏡を見ていたら、「…兩人*連署(*連暑)ノ上…」とある。原本の校注者による校訂だ。そうすると、先の例は「暑」の写しか入力への誤りのようである。「暑」は「暑」に間違えやすい。この例は2,398件中の1例であった。

ところで、これからの研究資源共有化システムの重要な要素に、電子本(雑誌、図書、資史料)への対応が考えられる。今後、数年で一般化すると予想される新たなメディアに対応したシステム環境が整備されると素晴らしい。例えば、iPadのようなモバイル環境に適した機器で上例のような遊びができると嬉しい。これには人間文化研究機構独自では対処できない。インターフェースの公開によるシステム環境のグローバル化、つまり誰でも参入できる環境を整備しないと無理だろう。

コンテンツの質量面の拡充も重要である。6機関の既存DBのうち、現在共有化対象になっていないDBは優に100を超える。また、未公開や開発中のDB、中断、保留中など未整備のDBも多い。さらに、各機関の現在のDBは、おおむね研究者の独自の研究に基づくDBが主であって、いわゆる機関DBは少ない。機関の事業目的に即した機関DBの整備が望まれる。DBは網羅性が重要であり、例えば国語年鑑と国文学年鑑の統合や歴史情報の統合化が実現すると、便宜この上ない。これからの望みは、研究資源共有化システムだけで何か知が得られるかということに尽きる。



最後に、「寒」をあげておく。悪寒、飢寒、苦寒、迎寒、厳寒、向寒、沍寒、極寒、酷寒、歳寒、残寒、春寒、小寒、傷寒、峭寒、初寒、暑寒、早寒、大寒、凍寒、避寒、氷寒、貧寒、風寒、防寒、余寒、冷寒など。暑寒に向って、健康に留意され、人間文化研究機構の多くの方々の努力に期待したい。

国文学研究資料館名誉教授 安永 尚志

統合検索システムのデータベースの紹介

統合検索システムには、機構トップページからアクセスできる。2011年2月8日現在で統合検索システムの検索対象となっているデータベースの内容を紹介する。掲出した情報は、データベース検索画面の各データベースの「解説」(データベース名・機関・概要・件数・データ形式・コメント)の中の「データベース名」「概要」「件数」(全文DBは「全文」等と表示)である。

検索画面データベース一覧の「解説」ボタン

データベース名	機関	データ形式	
<input checked="" type="checkbox"/> 館蔵資料	歴博	  	解説

件数は、2月8日段階での「解説」の数値をもとにし(件数には、対象資料数を表示した場合もある)、一部、国立国会図書館デジタルアーカイブポータルPORTAの「検索対象アーカイブ一覧」に表示された件数を記載し、件数に「*」を付した。国際日本文化研究センターのデータベースのうち原データベースのトップに接続するものは、1件#と記した。データベース番号は通番とし、句読点等の使用は統一した。

国立歴史民俗博物館

1 館蔵資料

歴博が所蔵する歴史、考古、民俗の幅広い資料を共通的に検索できるよう基本的なデータを収録。223,486件

2 館蔵中世古文書

歴博が所蔵する資料群のうち、中世文書について日付、書出、書止など詳細項目と文書の全ての画像を収録。1,925件

3 館蔵近世・近代古文書

歴博が所蔵する近世・近代古文書に関し、文書名、差出、宛名を掲載。年代による検索やソートが可能。現在、水木家資料を収録。8,002件

4 館蔵紀州徳川家伝来楽器

歴博で所蔵する紀州徳川家伝来楽器コレクションの楽器本体、付属品、付属文書の情報を画像や付属文書の翻刻とともに掲載。213件

5 館蔵武器武具(実物資料)

歴博が所蔵する武器武具資料に、分類などの諸情報と画像を付与し、実物資料と文献史料の連携をとった詳細データベース。718件

6 館蔵武器武具(文献史料)

歴博が所蔵する武器武具資料に、分類などの諸情報と画像を付与し、実物資料と文献史料の連携をとった詳細データベース。3,306件

7 館蔵錦絵 歴博が所蔵する錦絵資料に、名称や画工名の基本情報のほか、主題や内容の分類等、詳細な書誌データを付して画像とともに掲載。1,672件

8 館蔵「懐溜諸屑」

19世紀中・後半の市井の様々な史料を落語家が収集したと考えられる「懐溜諸屑」について、一点別に詳しい情報を付与。3,515件

9 館蔵野村正治郎衣裳コレクション

野村正治郎衣裳コレクションの小袖資料と小袖屏風について、材質や技法などに加え専門研究者が必要とする基礎的データをその精細な画像とともに提供。111件

10 館蔵染色用型紙

歴博で収蔵する4,000枚を越す染色用の型紙の基礎的データとともに、通常の画像だけでなく、肉眼では見えない情報を引き出すことができる赤外線画像を付して提供。100件

11 館蔵縄文時代遺物

歴博で所蔵する縄文土器、石器資料の利用を目的に、時期や種類等の基礎的データを、写真画像などを付けて公開。7,263件

12 館蔵装身具

江戸時代から明治時代を中心とする髪飾具(櫛・かんざし・笄)・袋物(たばこ入れ・紙入れ・宮迫・守袋)・印籠など、歴博所蔵の装身具のデータを画像付で公開。360件

13 館蔵高松宮家伝来禁裏本

歴博が所蔵する高松宮家伝来禁裏本の全資料の目録情報とともに典籍・文書の画像を収録。1,981件

14 兼頭卿記

室町時代中期の貴族広橋兼頭の日記の全文データベース。686件

15 歴博図書目録

歴博の研究用図書室で所蔵する図書の目録を掲載。203,945件

16 日本荘園

日本中世の社会的・経済的な基盤であった荘園について、所在や荘園領主・史料出典などの主要な情報を収録。8,975件

17 荘園関係文献目録

荘園に関する主要な論文・文献類を収録。荘園データベースと相互にリンク。4,611件

18 自由民権運動研究文献目録

1870年代から80年代にかけて全国的規模で展開した自由民権運動についての研究成果と文献目録を掲載。4,805件

19 棟札

平成3年度に刊行した社寺建造物の棟札の調査報告書に収録していない指定外建造物の棟札に関する基礎データを収録。1,060件

20 古代・中世都市生活史

古代・中世における都市生活の検討を目的に、概ね8世紀から16世紀の様々な物の価格を文献資料から抽出し掲載。37,253件

21 江戸商人・職人

近世都市江戸の商人・職人の名鑑や株帳等から抽出した居所、職業、所持株等の情報を収録。商人名は屋号・名を分割、地名は現在の23区の項目を設定。2,617件

22 中世制札(制札)

江戸時代以前に出された制札(木に書かれた掟書。「高札」とも言う)に関するデータおよび関係文献データの集積で相互に関連づけられている。122件

23 中世制札(文献)

江戸時代以前に出された制札(木に書かれた掟書。「高札」とも言う)に関するデータおよび関係文献データの集積で相互に関連づけられている。81件

24 中世地方都市(都市)

日本中世に所在した地方都市(京都・鎌倉以外の都市)について、名称、位置、性格、存続時期などの「都市情報」と、研究文献の書誌データである「文献情報」を相互にリンクして提示。1,255件

25 中世地方都市(文献)

日本中世に所在した地方都市(京都・鎌倉以外の都市)について、名称、位置、性格、存続時期などの「都市情報」と、研究文献の書誌データである「文献情報」を相互にリンクして提示。325件

26 陶磁器出土遺跡(遺跡)

日本国内の貿易陶磁器を出土した遺跡の文献目録と遺跡・遺構および出土陶磁器についてのデータベース。7,992件(遺跡、文献併せて)

27 陶磁器出土遺跡(文献)

日本国内の貿易陶磁器を出土した遺跡の文献目録と遺跡・遺構および出土陶磁器についてのデータベース。7,992件(遺跡、文献併せて)

28 土偶

日本国内から出土した縄文時代の土偶について、出土遺跡、土偶の諸特徴・属性、出典・参考文献の情報を収録。10,641件

29 近世窯業遺跡

生産・流通経済の研究に不可欠な経営形態、窯構造、生産器種、窯文書などの項目を掲載。1,317件

30 近世窯業関係主要文献目録

近世窯業遺跡に関する主要な文献目録を掲載。近世窯業遺跡データベースと相互にリンク。1,904件

31 城館城下発掘(遺跡)

1991年(西日本は1990年)までに発掘調査された城館と城下遺跡の情報を集積。検出遺構、論文、遺物の分析結果を収録。3,348件(遺跡、文献併せて)

32 城館城下発掘(文献)

1991年(西日本は1990年)までに発掘調査された城館と城下遺跡の情報を集積。検出遺構、論文、遺物の分析結果を収録。3,348件(遺跡、文献併せて)

33 弥生石器遺跡(遺跡)

縄文時代後期から古墳時代初頭における石器組成を算出する条件を備えた遺跡より、組成算出の基礎データと関連情報を集積。580件

34 弥生石器遺跡(図面)

縄文時代後期から古墳時代初頭における石器組成を算出する条件を備えた遺跡より、組成算出の基礎データと関連情報を

集積。3,386件

35 東国板碑(遺跡等)

関東・東北・北海道に分布する約7万件の板碑に関して、板碑情報、所在地(遺跡)情報、文献情報を関連づけて集積。所在地は緯度経度による位置情報を付与。12,362件

36 東国板碑(板碑)

関東・東北・北海道に分布する約7万件の板碑に関して、板碑情報、所在地(遺跡)情報、文献情報を関連づけて集積。所在地は緯度経度による位置情報を付与。51,903件

37 東国板碑(文献)

関東・東北・北海道に分布する約7万件の板碑に関して、板碑情報、所在地(遺跡)情報、文献情報を関連づけて集積。所在地は緯度経度による位置情報を付与。1,492件

38 民俗誌

日本各地の村落に関する諸分野の現地調査報告の文献目録を内容分類とともに収録。地域別の検索が可能。5,203件

39 日本民俗学文献目録

1985年以降の民俗学および関連する諸分野における論文、報告、資料等の目録情報と論文の対象地域を収録。42,148件

40 宮座研究論文

歴史学、民俗学、社会学、人類学、宗教学などにわたる宮座関係の著書・論文を収録し、著者別、地域別、年代別に検索が可能。1,447件

41 民俗語彙

口頭で伝承されてきた方言的な語彙を収録したデータベース。柳田國男の指導のもとに収集された総合日本民俗語彙に収録されている民俗語彙やその他の語彙を収録。35,239件

42 俗信

予兆・卜占・禁忌・呪術に関する言い伝え(俗信)とその伝承地等を収録。動物と植物に関する俗信約30,000件の内、現在は動物について公開。14,683件

国文学研究資料館

43 収蔵歴史アーカイブズ

当館収蔵の史料群の概要データベース及び史料目録データベース。82件

44 吾妻鏡

原本テキストデータベース(当館所蔵の寛永3年版本を底本とし、ブラウザ機能による全文検索が可能)。全文、43,173件

45 絵入源氏物語

原本テキストデータベース(当館所蔵の承応3年版本を底本とし、ブラウザ機能による全文検索が可能)。全文、45,408件

46 二十一代集

原本テキストデータベース(当館所蔵の正保版本を底本とし、詞書・作者・和歌・左注・メモ等からの検索が可能)。全文、34,346件

47 日本古典文学本文

『日本古典文学大系』(旧版、岩波書店刊)の全作品(100巻560作品)の本文(テキスト)データベース。一部は旧版岩波古

典大系からKOKINルールに基づいて電子翻刻化された「古典本文データベース」から62タイトルを選び、校正・漢字の再評価・XML化およびPDF化を進めたデータ。*『日本古典文学大系』(旧版、岩波書店刊)の全作品(100巻580作品)

48 図書・雑誌所蔵目録

館所蔵の明治期以降の図書、雑誌(逐次刊行物)の目録データベース。*図書約113,900件、雑誌約8,000タイトル。

49 近代文献情報(近代書誌・近代画像)

国文学研究資料館が、全国の調査員とともにしている明治以降の文献調査によって得られた書誌情報を提供するデータベース。他に類を見ない詳細な書誌内容であり、それらの文字データを補う意味で付与された書影(各データごと、最大12枚)も極めて有用といえる。検索は、書名・著者名・書肆だけでなく、出版年時・所蔵者名からも検索可能となっており、個別の書誌情報にとどまらない有益なデータを提供している。*書誌約27,200件、画像約1,600件

50 コーニツキー版 欧州所在日本古書総合目録

欧州各国の図書館・美術館・博物館等所蔵の「日本の和装本」の書誌・所在情報データベース(ケンブリッジ大学のピーター・コーニツキー教授が収集・整理されたデータを順次追加・更新)。*約12,000件

51 古筆切所収情報

『古筆切提要』以後に影印刊行された古筆切類の所収情報データベース。22,629件

52 「史料所在情報・検索」システム

全国各地に伝来する記録史料について、史料群単位の所在とその概要情報を提供するもので、歴史学や史料学研究的の進展と情報の共有化と有効利用を図ること、また記録史料の保存に寄与することを目的に集約したもの。49,640件

53 館蔵和古書画像

館蔵和古書の画像データベース試行版。簡易目録を利用して検索できます。5,569件

54 新奈良絵本

当館所蔵の奈良絵本の原本画像データベース(翻刻付)。11本

55 歴史人物画像

古代から近世までの歴史上の人物の画像データベース(当館所蔵の和古書から採録)。*古典キャラクター画像約3,100名・4,700件

56 国文学論文目録

国文学関係論文(大正元年～平成18年)の目録データベース。*約460,000件

57 近代文献情報(明治期出版広告)

近代日本の出版事業を探ることを目的として、明治期の新聞に掲載された出版物の広告を集めたデータベース。特に明治初期の出版物は、出版年月日など出版時の情報が不足しており、その間の情報を得る上で本データベースは極めて有用である。また、この時期は出版書目なども整備されておらず、現存数も限られているため、当時の出版物の書目や規模を知る上でも有効なデータベースである。現在も逐次追加中。出版広告約

28,000件

58 史料情報共有化

国内外で公開されている史料群(アーカイブズ)情報のデータベース(史料を公開する各収蔵機関による共同構築)。6,069件

59 和刻本漢籍総合

和刻本漢籍分類目録データベースを基礎として、新に研究上有益な情報を含む序・跋・刊記の情報を、テキストと画像の形で付加し公開する。また、当館の国書基本データベースやマイクロ資料・和古書目録データベースとのリンクを行う。1,300件

60 館蔵神社明細帳

当館所蔵の全国の神社・寺院明細帳(仏堂明細含む)795冊は、明治から戦前期分の神社・寺院の明細帳であり、内務省・文部省管轄の公簿として、その実体を把握できる唯一の史料である。当館所蔵の戦前期神社・寺院明細帳をデータベース化し、広くその存在を公開して、利用の促進を企図することを目的とする。すべての館蔵分の画像化とデータベース化及び情報公開環境を整備する。本事業の完了後は、都道府県所蔵の神社・寺院明細帳の画像化とデータベース化が促進されることが期待できる。*約43,000件

61 連歌・演能・雅楽

既成の連歌・演能記録データベースに、雅楽が行われた記録を加えて、古典芸能記録データベースとして公開する。なお、雅楽記録はデータベース構築をスタートさせる段階である。48,975件

62 古典学統合百科(伝記解題)

国文学研究資料館で運用される著作典拠ファイル(国書基本データベース・古典籍総合目録データベース)の執筆者情報(ID)を付加する、人物データベースと(「歴史人物画像データベース[追加]」)と「人物伝記資料解題[新規]」)とオンロゴ型データベース(「古事類苑データベース」)とを連関させる前近代統合百科データベースを古典学統合百科データベースシリーズとして構築する。119件

63 古典学統合百科(地下家伝・芳賀人名辞典)

日本の古典研究に関わる人物情報をデータベース化。現在、芳賀矢一(1867-1927)編『日本人名辞典』(1914)と三上景文著;正宗敦夫(1881-1958)編纂校訂『地下家伝』(日本古典全集刊行会、1937.9-1938.8)6冊をデータベース化したものを搭載。50,754件

64 古典籍総合目録

日本の古典籍の書誌・所在についての情報を、著作・著者についての情報(典拠情報)とともに提供する総合目録データベース。『国書総目録』所載の所在・翻刻複製についての情報を併せて表示。書誌情報には、当館所蔵和古書とマイクロ資料(国内外の古典籍を撮影収集した資料)も含む。*著作約459,000件、著者約68,000件、書誌約467,000件

65 アーカイブズ学文献

アーカイブズ学に関する国内研究文献データベース。1992年度文部省科学研究費補助金研究課題「史料管理学に関する文献情報の収集とデータベース作成についての基礎的研究」(研究代表者:国文学研究資料館史料館山田哲好)の成果を引き継いだ全国歴史資料保存利用機関連絡協議会関東部

会文書館学文庫目録委員会との共同作業による成果(1995年刊まで)を含んでいる。参考「検索コード表」。11,073件

国立国語研究所

66 ことばに関する新聞記事見出し

1949年以降、ことばに関する新聞記事を集めた「切抜集」を作成し、データベース化したもの。141,495件

67 図書目録

国立国語研究所研究図書室が所蔵する図書の目録データベース。134,466件

国際日本文化研究センター

68 貴重書

日文研が所蔵する貴重書(日本文化研究にとって特に重要な図書:主として開国期以前に出版された外国語図書)の全てを画像として入力したデータベース。テキスト情報としても書誌情報、目次、図版キャプションを追加してある。67件

69 西洋医学史古典文献(野間文庫)

16世紀の解剖学書等、西洋医学の古典的著作を財団法人野間科学医学研究資料館(平成15年に閉館)から蔵書の寄贈を受け、本センターで「野間文庫」として利用に供している貴重な資料を画像として入力したデータベース。1件#

70 宗田文庫図版資料

宗田文庫は、医史学者の故宗田一氏が収集された、医学史・薬学史に関する書籍、図版資料などを中心とする日本医療文化史の資料コレクションである。ここには、そのなかから主として図版資料を収録している。2,723件

71 日本研究機関

日本研究を行っている世界各地の研究機関情報。1,654機関

72 絵巻物

日文研が所蔵する絵巻物を画像として入力したデータベース。1件#

73 怪異・妖怪絵姿

日文研所蔵の妖怪絵巻をデジタル化した、高精細画像データベースである。1件#

74 近世風俗図会

日文研所蔵で江戸時代庶民のあいだで流行した絵入り読み物、絵双紙(絵草子・絵草紙)関係資料の画像データベース。148件

75 ちりめん本

日文研が所蔵するちりめん本(各国語で書かれた昔話)を画像として入力したデータベース。76件

76 米国議会図書館所蔵奈良絵本

室町末期から江戸初期にかけて制作された、挿絵(奈良絵)の御伽草子で、冊子型のほか卷子型(絵巻物)もあり、「奈良絵本・絵巻」とも呼ばれます。今回、米国議会図書館所蔵本を、日文研との連携業務により画像化したデータベース。1件#

77 平安京都名所図会

本データベースは近代以前の平安・京都の風俗を主に絵図を通して研究するために、国際日本文化研究センターが所蔵する江戸時代から明治期にかけての平安・京都を描いた「名所図会」の高精細画像データベースである。平成15年現在、当センターが所蔵する平安・京都に関する名所。2,002件、*24冊

78 平安人物志短冊帖

平安人物志とは、近世京都のWho's Whoであり、市井の各方面の文化人を集成している。平安人物志短冊帖は、その人々の染筆になる短冊のコレクションであり、すべて日文研が所蔵しているものである。947件

79 平安人物志

平安人物志とは、近世京都のWho's Whoであり、市井の各方面の文化人を集成している。明和五年(1768)の第一版にはじまり、安永四年(1775)、天明二年(1783)、文化十年(1813)、文政五年(1822)、文政十三年(1830)、天保九年(1838)、嘉永五年(1852)、慶應三年(1867)の第九版まで、ほぼ10年おきに増補改訂された。ここに収録する原本は、すべて日文研が所蔵しているものである。4,422件、*927頁

80 米国議会図書館所蔵浮世絵

米国議会図書館(Prints and Photographs Division (P&P))が所蔵する17世紀から19世紀に及ぶ日本の版画と絵画コレクションのうち浮世絵の画像及び解説文をデータベース化。2,868件

81 都年中行事画帖

平安京都の祭りなどの風俗を描いた『都年中行事画帖』(詞書:江馬務、画:中島莊陽、日文研所蔵)の絵及び詞書を収録している。104件

82 Japan Review

日本研究に関するオリジナルな研究成果をまとめた学術論文集です。日文研教員、客員教員、共同研究員、外国人の日本研究者等が投稿することができます。投稿論文は、審査員による査読を経て掲載されます。現在まで、22号を発行しています。213件

83 日文研フォーラム報告書

外国人客員教官などによる日文研フォーラムの報告書の全文情報および報告者の所属、略歴、著書・論文などのデータ。130件

84 日本研究

日文研教員、同共同研究員等が行なった研究の成果を収録する原著論文集です。国際日本文化研究センター紀要として年2回出版する定期刊行物で、平成元(1989)年の創刊号以来、第41集までデータベース化されています。459件

85 於竹大日如来縁起絵巻

「於竹大日如来縁起絵巻」は、羽黒山修験道根本道場羽黒山荒沢寺正善院に伝わる三巻からなる絵巻で、同院境内に祀られているお竹大日堂の由来を説いたものである。このデータベースは、正善院の全面的な協力の下、上記の絵巻及び同院所蔵のお竹関係資料に基づいて制作したものである。1件#

86 怪異・妖怪伝承

民俗学の調査などで報告された怪異・妖怪の事例についての書誌情報。1件#

87 季語検索

35,000以上の季語を収録しており、和歌、連歌、俳諧データベースの検索補助機能として構築されたが、季語検索単独でも利用できるデータベースである。4,819件

88 近世崎人伝(正・続)

近世崎人伝(正・続)の全文及び図版を収録。本文記事の収録に際しては、原本で使用されている旧字を新字に置き換え、JISコードに登録されていない文字については同音・同義のJISコード文字を採用している。172件

89 考古学GIS

平安京・京都遺跡、地震痕跡遺跡、佐賀弥生遺跡をデータベース化したものである。959件

90 図録 米欧回覧実記

「図録 米欧回覧実記」には、1878(明治11)年刊行の久米邦武編『特命全権大使米欧回覧実記』に掲載された図版ならびに図版に関連する本文記事を収録している。本文記事の収録に際しては、原本で使用されている旧字を新字に置き換え、JISコードに登録されていない文字については同音・同義のJISコード文字を採用している。「米欧回覧実記」の目次順の図録表示と旅程図から関連する場所の図録表示の2種の表示ができる。*約320件

91 錦絵観音霊験記の世界

今からおよそ160年前、全国に散在する百観音霊場を題材にした浮世絵(錦絵)が製作され、流行を見た。それがこのデータベースで紹介する[観音霊験記]であり、鮮やかな画像で紹介するのみならず、霊験記の本文を翻刻し、併せて各札所、衣装等の解説を加えている。1件#

92 俳諧

芭蕉、蕪村をはじめ主要な俳諧作品についてデータベース化したものである。収録のデータはすべて勢田勝郭氏(奈良工業高等専門学校教授)がみずから多年にわたって入力・蓄積されたもので、日本研究のために役立てて欲しいとのお申し出により、国際日本文化研究センターに一括寄託されたものである。*約26,000件

93 連歌

永禄以前(連歌師宗養の没年まで)の連歌作品のすべて、及び永禄以後幕末までの主要な連歌作品をデータベース化したものである。収録のデータはすべて勢田勝郭氏(奈良工業高等専門学校教授)がみずから多年にわたって入力・蓄積されたもので、日本研究のために役立てて欲しいとのお申し出により、当センターに一括寄託されたものである。*約200,000件

94 和歌

勅撰集21種すべて、万葉集をはじめ夫木和歌集などの私撰集及び主要な私家集の和歌についてデータベース化したものである。収録のデータはすべて勢田勝郭氏(奈良工業高等専門学校教授)がみずから多年にわたって入力・蓄積されたもので、日本研究のために役立てて欲しいとのお申し出により、当センターに一括寄託されたものである。*約190,000件

95 在外日本美術

ロシアのプーシキン、エルミターージュ、ハンガリーのフェレンツ・ホッ

プ美術館が所蔵する日本美術品(絵画、版画、根付、陶磁器、漆器、彫刻、金工等)の画像・書誌情報。*約5,900件

96 日本関係欧文図書目録

日文研所蔵の1900年以前に発行された欧文図書の内、日本関係記述のある全ての図書に関する書誌情報と画像情報の提供。1,061件

97 所蔵地図

日文研が所蔵する近世・近代都市図の全てを画像として入力したデータベース。テキスト情報として地図名、内容年代、成立年代、形態、地域、作成主体、出版者、旧蔵などの事項を追加してある。1件#

総合地球環境学研究所

98 世界地図

研究推進センターが所蔵する地図のデータベース。米国NIMAの発行した地図が中心。1,295件

99 所蔵図書

研究所図書室が所蔵する図書・雑誌のデータベース。21,337件

100 西表文献

研究プロジェクト「亜熱帯島嶼における自然環境と人間社会システムの相互作用」において収集された西表島に関する文献のデータベース。8,191件

101 映像資料

研究プロジェクトにおいて収集された静止画・動画のデータベース。150件

国立民族学博物館

102 標本資料目録

国立民族学博物館が所蔵する標本資料(生業、生活、儀礼、製作技術にかかわる用具類など)の情報です。ほぼ全資料について、標本名、地域、民族、寸法・重量、受入年度などの基本情報を収録しています。245,337件

103 標本資料詳細情報

国立民族学博物館が所蔵する標本資料(生業や生活、儀礼、製作技術にかかわる用具類など)の情報です。標本名、現地名、訳名、収集地、使用地、使用民族、使用年代、用途使用法、製作地、製作法・材料など標本資料に関するより詳しい情報を収録しています。36,609件

104 標本資料記事索引

国立民族学博物館関連の出版物の中から所蔵する標本資料を解説した部分を抽出し、その書誌情報を標本資料別に整理したものです。31,230件

105 映像資料目録

国立民族学博物館が所蔵する映像資料(映画フィルム、ビデオテープ、DVDなど)に関する情報です。(写真資料は除く)。7,651件

106 ビデオテーク

国立民族学博物館の展示場で提供しているビデオテーク番組の情報です。ビデオテークブースと同じメニューで番組を探したり、キーワードで検索したりすることができます。595件

107 音楽・芸能の映像

国立民族学博物館が世界各地で取材したビデオ映像から、音楽や芸能に関係する部分を、1曲または1テーマごとに抽出した動画データベースです。取材地はユーラシアを中心として世界各地にわたり、収録映像は多様なジャンル、上演形態、様式、楽器を含んでいます。(ただし、動画の視聴は館内に限られます)。849件

108 カウフマン・アフリカ古地図コレクション

英国王立人類学協会会員だったD. M. カウフマンが30年かけて収集し、現在は国立民族学博物館に所蔵されているアフリカ古地図コレクションの情報です。高精細でデジタル化した地図画像は連続的に拡大表示できます。301件

109 音響資料目録

国立民族学博物館が所蔵するレコードやテープ、CDなどの音響資料についての情報です。62,453件

110 音響資料曲目

国立民族学博物館が所蔵する音響資料について、音楽の曲単位の情報や昔話の一話単位の情報です。346,772件

111 図書目録

国立民族学博物館が所蔵する図書の書誌・所蔵情報です。699,653件

112 雑誌目録

国立民族学博物館が所蔵する雑誌の書誌・所蔵情報です。16,287件

113 中西コレクション —世界の文字資料—

世界のさまざまな文字で書かれた図書・新聞・手稿・標本などの資料に関する分析情報と書誌情報、文字サンプルの画像です。これらの資料は、中西印刷株式会社・故中西亮氏が世界各地で収集され、国立民族学博物館に寄贈されました。*図書資料1,256点、新聞資料13地域(1,171紙)、標本資料296点

114 衣服・アクセサリ

国立民族学博物館所蔵が所蔵する衣服標本資料とアクセサリ標本資料の詳細分析情報です。また、関連するフィールド写真も収録しています。16,778件

115 身装文献

身装文化に関する雑誌記事、図書の索引情報です。1) 服装関連日本語雑誌記事(カレント)、2) 服装関連日本語雑誌記事(戦前編)、3) 服装関連外国語雑誌記事、4) 服装関連日本語図書、5) 服装関連外国語民族誌で構成されています。139,337件

nihuONE

116 東洋文庫・中華教育界目録

1913年から1950年まで、中国大陸で発行されていた教育専門誌「中華教育界」の目次をDB化したもの。5,491件

117 生態史写真資料

総合地球環境研究所の研究プロジェクト「アジアの熱帯モンスーン地域における地域生態史の総合的研究:1945-2005」に関する写真のデータベース。191件

118 生態史文献資料

総合地球環境研究所の研究プロジェクト「アジアの熱帯モンスーン地域における地域生態史の総合的研究:1945-2005」に関する文献のデータベース。1,435件

国立国会図書館PORTA

119 近代デジタルライブラリー

国立国会図書館が所蔵する明治期・大正期刊行図書の書誌情報及び目次情報、資料本文のデジタル画像を閲覧可能なシステム。*約156,000件

120 貴重書サンプル

PORTAにおいて、8件20コマの貴重書サンプルを選び、サンプルとしてデジタル化を行ったもの。*8件

121 貴重書画像

国立国会図書館が所蔵する貴重書等から特色ある資料を取り上げ、和漢書、錦絵、絵図、重要文化財など、江戸期以前の貴重な資料を閲覧可能なシステム。*957件

122 NDL蔵書目録(和図書・和雑誌)

国立国会図書館の所蔵資料の目録データ。和図書、和雑誌のデータが検索対象。*和図書約386万件、和雑誌約14万件

123 カレントアウェアネス

図書館に関する内外の最新動向と、図書館及び図書館情報学に関する調査・研究活動の成果を紹介するサイト。*CA約1,000件、CA-E約1,000件



研究資源共有化事業委員会では、国立歴史民俗博物館・国文学研究資料館・国立国語研究所・国際日本文化研究センター・総合地球環境学研究所・国立民族学博物館のサイトで公開されている各機関のデータベース、nihuONEのデータベースを、順次、統合検索システムの対象とすることを進めているが、データ構造やデータ拡充整備過程などの諸事情により、現在までに検索対象とできていないものもある。それらは、次号で紹介する。それらも、統合検索システム対象データベースも、各機関・nihuONEのデータベースサイトから利用できる。

6機関とnihuONEの118のデータベースのうち、現時点でPORTAの検索対象となっていないものは、42・69・72・73・76・85・86・91・98・99・101・107である。

(研究資源共有化事業委員会 石上英一)

「中華教育界記事目録」データベースの構築

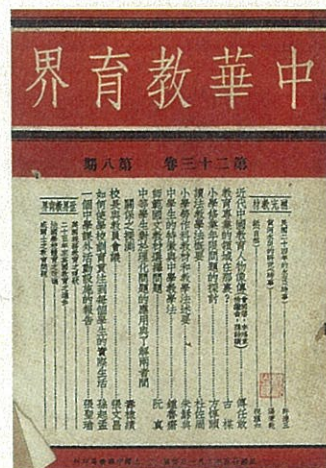
—現代中国地域研究から見たデータベース—

人間文化研究機構地域研究推進センター・(財)東洋文庫 大澤 肇

筆者は、現在人間文化研究機構の現代中国地域研究プログラムに従事している。地域研究とは様々な方法論を組み合わせて特定の地域を理解しようという学問であるが、その核に、その地域を対象とした歴史研究が存在していると筆者は考えている。ある地域の国家・社会のあり方、あるいはそこに住む人々の生活や文化・思想は、その過去に規定されている部分が多いからである。そして歴史研究を支える最も重要なインフラストラクチャーとして、史料のデータベースがある。過去(あるいは現在でも)、歴史研究ではそれが紙媒体で「目録」として存在しており、こうした目録、特にアジアに関するものを大量に生産してきたのが、筆者の派遣先である東洋文庫である(例えば、1960年代末から日中戦争期中国の重要な新聞である『解放日報記事目録』を編集・出版)。こうした記事目録からは、当時の状況などを把握することができ、今回筆者たちが構築したデータベースもその延長線上にあるといえよう。

従来の紙媒体の目録に対し電子データベースは、検索における利便性などその優位点は多岐にわたるが、システムの調達など莫大な金銭・時間的コストが必要なこと、また構築後もメンテナンスなどでランニングコストがかかることが欠点である。そのため筆者が派遣されているような小規模な民間研究機関や期限付きのプロジェクトではデータベース構築の余裕がなく、構築の意欲がありながらも、実現できないケースが多い。その点で「中華教育界記事目録」データベースの公開に利用したnihuONEシステムは、データベース構築者側に、コストがかからない仕組みになっており、大いに魅力的である。

筆者の研究対象である中国では、論文や一次史料についてのデータベースの整備が日本より進んでいる。例えば上海図書館では近年、1883年から2010年までの、中国における主要な雑誌・新聞に掲載された記事のタイトルを検索できる「全国報刊索引」というデータベースを構築した。そのため中国の歴史研究者はまずこの「全国報刊索引」を調べることが研究の第一歩となっている、と言われるほどである。近年、中国における歴史研究では優れた研究が次々に出現しており、上述したデータベースなど学術インフラの整備が、中国での研究レベルの向上に大きく貢献していることが理解できる。こうしたデータベースなど学術インフラの整備は、学術研究のレベル向上に不可欠であり、日本も見習うべき点であろう。(中華教育界記事目録データベースはnihuONEシステムで公開され、統合検索システム・PORTAからも検索できます)



筆者所蔵

人間文化研究情報資源共有化研究会報告集 2 2011年3月刊

第4回 人間文化研究情報資源共有化研究会 (平成22年9月10日 会場:国立国語研究所)

国立公文書館デジタルアーカイブのご紹介 国立公文書館 八日市谷 哲生

博物館資源の情報化の現状と連携を図る上での諸問題
東京国立博物館 田島 哲

世界をリードする学術知の循環基盤の構築に向けて
—データ中心人間・社会科学からのアプローチ—
国立情報学研究所 曾根原 登

現代日本語コーパスにおける文字処理 国立国語研究所 高田 智和

時空間情報の利用と展開 総合地球環境学研究所 関野 樹
京都大学地域研究統合情報センター 原 正一郎
京都大学東南アジア研究所 柴山 守
国立民族学博物館 久保 正敏

国会図書館PORTAと人間文化研究機構統合検索システムとの連携について
国立民族学博物館 山本 泰則

第5回 人間文化研究情報資源共有化研究会 (平成23年1月28日 会場:国立民族学博物館)

歴史知識学の新展開 東京大学大学院工学系研究科 赤石 美奈

データを支えるデータ
—人間文化研究における知識ベースの構築の試みについて—
国文学研究資料館 相田 満

歴史知識学の方法と知識ベース
—東京大学史料編纂所での経験から— 東京大学史料編纂所 保立 道久

古事類苑の編纂 神宮文庫 黒川 典雄

古事類苑地部の編纂過程と構成の特性 国際日本文化研究センター 中西 和子

CONTENTS

ショカン 安永 尚志	1
統合検索システムのデータベースの紹介 石上 英一	2
「中華教育界記事目録」データベースの構築 —現代中国地域研究から見たデータベース— 大澤 肇	8
人間文化研究情報資源共有化研究会	8

研究資源共有化システム ニュースレター 第2号

発行日 2011(平成23)年3月15日

発行・編集 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
研究資源共有化事業委員会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 神谷町セントラルプレイス2階
TEL 03-6402-9200(代表)